



風師山 かざしやま

362m 福岡県



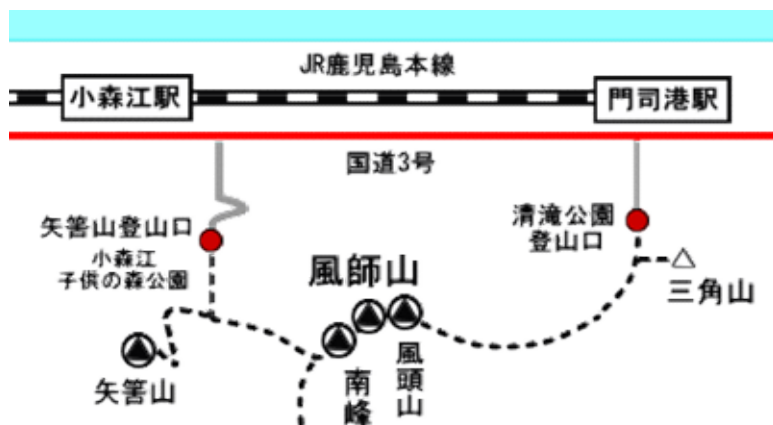
風頭山（風頭岩峰）より三角点がある風師山（左）と企救山地の山々を望む
風師山は北九州の北東部、関門海峡に突き出た半島一帯の企救（きく）山地、その一番北東部にあり、三角点がある主峰、風頭山（風頭岩峰）、南峰の三峰を総称している。風師山を結ぶ縦走路は企救自然歩道があり、関門海峡を望みながら縦走が楽しめる。

アクセス

最短コースとして清滝公園側から上がる車道をマイカーを使い、林道終点にある駐車場から風師山へ登ることが出来る。

今回は関門海峡の眺望を楽しむため矢筈山から企救自然歩道を縦走して風師山を進むコースを選ぶ。

公共交通機関を使い小森江駅よりスタートして門司港駅へと下ります。



レポート

小森江駅よりスタート。矢筈山、風頭山を縦走して門司港駅へ（登山日 2018. 10. 28）



参考コースタイム 小森江駅～40 分～矢筈山～45 分～風師山～5 分～風頭山～1 時間～三角山分岐入口～10 分～三角山～5 分～清滝公園登山口～25 分～門司港駅
参考歩行時間 3 時間 15 分

JR 小森江駅前の国道 3 号を経て小森江子供のもり公園へ向かう。ここが矢筈山の登山口となるようだ。更に林道をひたすら上がっていくと風師山への分岐にも出合うが、ここは矢筈山へ寄ってみる。矢筈山には明治 20 年関門地区防衛のために構築された要塞の跡があり、当時の兵舎や地下壕、弾薬庫などがそのまま残っている。現在はキャンプ場として使われている。登山日の 2018 年 10 月当時は大雨により災害により矢筈山まで上がる林道は車の通行が難しかったが、その後復旧され現在は車の通行も可能となっている。山頂はその要塞跡より上に上がった広場にあるが、三角点や目立つプレートなどはない。またキャンプ場の一部からは展望も望まれ、関門海峡や反対側では周防灘も見ることが出来る。



小森江子供のもり公園（登山口）



矢筈山山頂



矢筈山にある要塞跡



矢筈山からの展望

矢筈山より上ってきた林道を下っていき、途中のコーナーから風師山への取付きがある。そこから一旦鞍部まで下っていくが鞍部からは再び上り。縦走路の奥田峠までは長い支尾根で急登が続きます。道は良く整備されており歩きやすい。ここはかつては陸軍省管轄の道であったようで道沿いには今でも陸軍省の石碑も残っている。奥田峠に取付き縦走路に入って上りを進むと風師山三峰の一つ南峰に出合う。南峰には現在 NHK のアンテナとその施設があり、南峰を表すプレートなどはないと言われないと分からない場所でもある。



矢筈山への林道途中にある風師山への取付き。



かつては陸軍省の道であった。



奥田峠分岐。



N H Kのアンテナとその施設がある南峰。

南峰を縦走路沿いに少し下り、再び上がったところが二等三角点がある風師山山頂だ。
山頂にはプレートがあるが、この先の風頭山に比べると人も少なく賑わいもない。展望も少し望めはするが風頭山ほどではない。風頭山が風師山の主峰と言えるべき山頂かと思ったくらいで、どことなく寂しく感じる。その風頭山はここから少し進み、分岐より左に進むと風頭岩峰に出合う。



風師山山頂。



風頭山（風頭岩峰）。

風頭山からの展望は抜群だ。眼下には関門海峡にその奥に下関など中国地方。関門海峡を行きかう船も見られその素晴らしい眺望に感動を覚える。ここへは二度登頂したが両日ともにバードウォッチングを楽しんでいる多くの人に出会った。



風頭山にある石碑「山よ友よ」



風頭山からの展望は抜群。

風頭山より先ほどの分岐へ戻り先へ少し進んだところには「かんざしトイレ」がある。風師山早朝登山会が900回記念として建てられたようです。長い縦走路の中でのトイレはほんと助かります。

縦走路を北へと進みガングを下りていくと門司港側からの車道終点と駐車場に出会う。ここまで車で上がってくる事が出来、風師山への最短ルートでもある。



かんざしトイレ。



車道終点にある駐車場。

車道終点にある駐車場からは先は殆どが車道歩きとなる。

そのまま清滝公園の登山口まで車道を下っていくのであるが、途中にある三角山に寄ってみる。

門司港から見える形良い容姿の三角山。車道分岐から山頂までは約200mの上りで急登である。

特に下りの時は急斜面を下りることになるので滑らないように注意が必要である。

三角山の山頂にはプレートなるものは無く、大きな祠がある。展望は望めません。

清滝公園の登山口より更に下っていくと門司港駅に着く。



三角山の山頂にある祠。



清滝公園と風師山登山口。

